

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2024年2月期 (2023/4/1~2024/2/29)		上期							下期					通期	
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率 (%)													
国内小売売上	※1	105.4	105.7	105.0	111.5	111.1	99.6	106.3	102.1	107.0	※5 101.4	102.4	103.1	104.9	
店舗売上	※2	106.0	105.5	105.0	113.6	113.0	100.4	107.2	100.7	107.2	※5 101.4	101.1	102.5	105.0	
既存店売上	※3	109.7	109.2	108.4	118.2	118.2	102.7	110.9	103.7	110.6	※5 104.8	104.4	105.6	108.4	
Eコマース売上	※4	102.8	106.3	105.2	103.6	104.3	96.6	103.2	108.5	106.4	※5 101.6	106.5	105.6	104.3	
店舗数		店													
月末(期末)小売店舗数	※2	2,225	2,223	2,223	2,205	2,202	2,208	—	2,210	2,215	2,218	2,184	—	—	
出店		11	0	1	2	4	11	29	4	6	4	0	14	43	
退店		10	2	1	20	13	5	51	2	1	1	34	38	89	
M&A		0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	0	6	
既存店対象店舗数	※3	2,086	2,094	2,091	2,067	2,049	2,048	—	2,052	2,056	※5 2,062	2,027	—	—	

(注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみ限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(パーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2023年12月の国内小売売上前年比が101.6%から101.4%へ、店舗売上前年比が101.5%から101.4%へ、既存店売上前年比が104.1%から104.8%へ、Eコマース売上前年比が102.0%から101.6%へ、既存店対象店舗数が2,060から2,062へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月

△1

前年同月

±0

当月は、国内小売売上が前年同月比102.4%となり、内訳は店舗売上が同101.1%、Eコマース売上が同106.5%となりました。既存店売上は前年同月比104.4%でした。休日数の一日減は1月2日となるので売上に対する休日影響も微小です。

なお、既存店売上はコロナ禍前の2020年1月に対して84.3%でした。

当月の店舗販路は年明けセールが好調でした。初売りからSCブランドが活況となり、最終の山場となる成人の日(1/8)にかけて百貨店ブランドも加勢しました。EC販路でも最終セールで高単価なジャケットやコートが活発に動きました。

また、中旬以降は、寒気が弱かったこともあって春物が立ち上がったほか、入卒園対応のジャケットやパンツ、スーツといったセレモニー商品も稼働しました。Eコマース売上ではプレオーダーで受注を受けた商材の出荷も売上を押し上げました。

アイテム別では、特に、ニットが好調な売れ行きを見せました。今すぐ着られるローゲージの暖かいニットから、春まで着られるハイゲージの明るいカラーの薄手ニットに至るまで、ニット商品はシンプルなものを中心に幅広く稼働しました。

ブランド別では、「オペークドットクリップ」「インデックス」「THE SHOP TK」に代表されるミドルローワーが引き続き牽引したほか、「タケオキチ」「アンタイトル」が代表格のミドルアップパーも貢献大きく、多くのブランドの既存店売上が前年超過しました。

(参考: 前期実績)

2023年3月期 (2022/4/1~2023/3/31)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率 (%)														
国内小売売上		127.7	149.8	112.2	116.9	130.2	136.0	127.5	131.8	117.6	128.7	141.7	152.4	105.2	126.8	127.1
店舗売上		124.1	156.2	108.3	111.9	128.0	133.6	125.1	126.8	112.5	124.3	134.4	149.6	105.2	122.6	123.7
既存店売上		119.5	150.7	109.3	109.4	120.0	118.0	119.8	111.9	100.8	107.7	120.5	134.3	112.4	112.6	115.6
Eコマース売上		144.7	127.7	130.1	140.1	138.8	145.3	137.4	158.0	141.2	149.5	168.7	161.4	105.3	144.9	141.5
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,364	2,358	2,353	2,341	2,316	2,313	—	2,301	2,304	2,304	2,248	2,205	2,224	—	—
出店		14	1	0	2	3	10	30	4	5	1	0	0	22	32	62
退店		11	7	5	14	28	13	78	16	2	1	56	43	28	146	224
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25
既存店対象店舗数		1,569	1,577	1,577	1,568	1,539	1,533	—	1,541	1,550	1,553	1,497	1,460	2,083	—	—